

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第3回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年6月23日(水) 15:00~17:30
開催場所	Web会議
参加人数	17名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、藤澤委員、永井委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、上塚オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認 ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。</p> <p>2. 次期エネ基関連 (1) 基本政策分科会、原子力小委員会等の状況 ・本分科会にて評価軸等を検討することとなっているため、基本政策分科会関連の動向として、第43回(5/13)にてRITEの秋元委員からご説明されたシナリオ分析結果(中間報告)に対する他機関の反応について情報共有した。 (2)政策動向(CP,非化石価値等制度改革等) ・小宮山主査より、今後導入が予定されている「非化石価値取引市場」の概要と最新動向をご説明いただいた。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 (1)シナリオ分析、エネルギー政策の評価軸、「科学的レビューメカニズム」関連 ・前回の議論を踏まえ評価軸の定義付けを再整理するとともに、「エネルギー白書2021」の評価軸を参考に、学会としてどのような評価軸を決めていくべきか議論をした。 ・「原子力が今後も一定程度の役割を担うためにはどのようなインセンティブが必要なのか」、「世界のシナリオ研究から見る再エネ100%のシナリオ」、「諸外国の科学的レビューメカニズムの取組み」についても各担当委員に調査いただき議論した。今後、これらの調査結果も参考に、「科学的レビューメカニズム」等のまとめ方を検討していく。</p> <p>4. 分科会の進捗フォロー等の状況 ・実施事項とスケジュールをもとに活動進捗状況をフォローした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第2回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年5月26日(水) 12:30~15:00
開催場所	Web会議
参加人数	19名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、藤澤委員、永井委員、西野委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、黒沢オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認・委員確認 ・議事録の内容を確認し承認した。今回の分科会より、木村委員と尾羽委員が分科会メンバーとして新任された。</p> <p>2. 次期エネルギー基本計画関連 (1) 基本政策分科会の状況 ・本分科会にて、日本の政策(ベストミックス)に合ったシナリオ選択に資する評価軸等を検討することとなっているため、基本政策分科会の開催状況(第42回 4/28、第43回 5/13)について情報共有した。 (2) 2050年カーボンニュートラルのシナリオ分析(中間報告) ・第43回の基本分科会(5/13)にてRITEの秋元氏から説明があったシナリオ分析について松尾委員から補足説明をいただいた。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 (1) 2050年に向けた太陽光・風力発電の導入ポテンシャル評価 ・太陽光・風力発電の導入ポテンシャルの研究(電中研)について尾羽委員からご紹介いただいた。 (2) シナリオ分析関連、エネルギー政策の評価軸 ・評価軸の検討を始めるのにあたり、堀尾委員、永井委員にこれまでのエネルギー基本計画策定の中で3E+Sがどのように議論され記載されてきたか、エネルギー白書の評価軸を紹介いただき、評価軸をどのように決めたらよいか議論をスタートさせた。 (3) 重要日程、実施内容、担当 ・本分科会で今年度実施することになった実施項目について担当と実施内容を確認した。今年度はシナリオ分析、日本にマッチしたCNの検討、原子力の役割と発信、原子力の安全性向上成果の発信方法の検討、エネルギー政策の科学的レビューメカニズムについて検討していく。 以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第1回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年4月28日(水) 8:30~11:00
開催場所	Web会議
参加人数	18名 小宮山主査、駒野幹事、下郡委員、杉山委員、田中委員、千葉委員、藤澤委員、永井委員、西野委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山口委員、山内委員、白木委員 上塚オブザーバ、黒沢オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>1. 分科会延長申請及び委員確認</p> <p>・アゴラ調査専門委員会が今年度より2年間延長されることになり、下部組織である本分科会も延長となったことを委員で確認した。永井委員(電中研)、堀尾委員(電中研)が分科会メンバーとして新任された。</p> <p>2. 前回議事録の確認</p> <p>・前回分科会議事録の確認が行われ、承認された。</p> <p>3. 次期エネルギー基本計画関連</p> <p>(1) 基本政策分科会及び原子力小委の状況</p> <p>・次期エネ基本に向けた国の動向、気候変動サミットの演説内容等の情報を共有した。</p> <p>(2) 発電コスト検証 WG の状況について</p> <p>・松尾委員より、発電コスト検証 WG の開催状況、議論の内容等をご説明いただいた。</p> <p>4. カーボンニュートラル実現に関するモデル分析例</p> <p>・小宮山主査より、カーボンニュートラル実現に関するモデル分析例についてご提示いただいた。分析の結果、原子力は CN 実現に貢献しうる経済合理オプションであること、多様な技術の総動員で CN を実現していく必要があるとのご意見を頂戴した。</p> <p>5. 分科会の取組について(議論)</p> <p>・分科会の延長申請に伴い、今後の分科会活動について議論した。</p> <p>・協議の結果、エネルギーシナリオの分析と提言、エネルギー政策のための評価軸の策定、他国の CN 動向の調査と日本にマッチした CN 施策、原子力の役割の発信等、について検討していく予定となった。</p> <p>・共通的な評価項目を設定して、全エネルギー源を横並びで評価することで、日本</p>

	<p>の政策(ベストミックス)に合ったシナリオ選択に資する』ための、評価軸を作成することとした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	